

# 簡単

## e-ジェクター工法 自動式樹脂注入工法



# 簡単セット! 簡単注入!

- 自動式樹脂注入器 (バネ加圧)
- 追い打ち簡単
- 0.04Nタイプ  
0.1Nタイプ



### 規格

- 容量……………25ml/本
- 最小ロット……………50セット
- セット内容……………本体50個  
座金50枚  
ノズル2本

PP: 本体、座金、ノズル  
鉄: バネ

### e-ジェクター工法の特徴

- バネ加圧により、最後まで均一に注入できます。
- 樹脂を充填したあとは、ひねってセット、ひねって注入開始の簡単設計。
- 注入開始後は、バネ加圧により自動注入されますので、大きな面積を少人数で施工可能です。
- 圧入器(別売り)の使用により、天井面への注入も可能です。
- 容器に目盛りが付いているため、計量管理が確実に行えます。
- 樹脂を満タン充填し、座金に取り付けた状態でも、全長15cm程度しかない為、狭い箇所での施工が可能です。

### e-ジェクター工法とは?

コンクリート構造物のひび割れに、エポキシ樹脂を自動的に、かつ低圧で連続注入する工法です。当工法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書」やUR都市機構の「保全工事共通仕様書」に記載されている自動式低圧樹脂注入工法に準じています。



### 積算条件

- ひび割れ幅……………0.5~1mm未満
- 壁 厚……………150mm程度
- 施工数量……………100m以上

※接着剤・注入樹脂に関しましては推奨商品ございますが、各メーカー商品の接着剤・注入樹脂もご使用いただけます。詳しくは弊社営業担当者までお問い合わせください。

※あくまで概算ですので、現場状況によって必要数量が変わります。施工前の調査準備を十分行ってください。



## 施工方法(基本的な施工手順)

1

### 調査準備

ひび割れの状態について確認し、補修範囲・工程などを確認する。  
調査結果に基づき必要材料を取りそろえる。



2

### 下地処理

ひび割れに沿い、5cm程度の幅で、ハケ等を用いてレイダンスや塵埃を除去する。  
油脂分はシンナーを含んだウェスで拭き取る。  
濡れている場合は、ドライヤーで乾燥させるか、自然乾燥するまで作業を中止する。



3

### 座金の取り付け

ひび割れ幅に応じて取り付け位置を決定し、チョークなどでマークする。  
その後、シール材を座金に塗布し、マークした位置に沿い、  
座金の中心がひび割れの真上になるように取り付ける。



4

### シール

ひび割れ表面をシール材で確実にシールし、注入樹脂が流失しないようにする。  
シール材を養生し、硬化しているのを確認する。



5

#### 手動注入の場合

### 樹脂の計量混合

主剤と硬化剤を、規定量になるように正確に計量し、色むらがなくなるまで十分に混合する。



#### 圧入器注入の場合

### 圧入器への樹脂充填

主剤と硬化剤を、一対一の割合になるよう計量し、圧入器のカードリッジにそれぞれ充填する。



6

### 注入(手動)

E-ジェクターに、混合したエポキシ樹脂を充填し、注入作業を行う。シリンダー内の樹脂がなくなれば、すみやかに注入材を充填した器具と取り替えるか、後ろから追い打ちする。



### 注入(圧入器)

座金にE-ジェクターを取り付け、後ろから圧入器により注入作業を行う。シリンダー内の樹脂がなくなれば、すみやかに追加注入を行う。



7

### 養生

注入作業終了後、E-ジェクターに樹脂が残った状態で硬化させ、そのままの状態です24時間養生する。



8

### 仕上げ

ディスクサンダーなどを用いて、E-ジェクターおよびシール材を除去し、下地面を平滑に仕上げる。エポキシ樹脂の使用量とE-ジェクター内の残量から、ひび割れへの注入量を確認する。

